

サイエンスアゴラ2006 参加報告

2006年11月27日

科学教育サポートネット広島 会長 高橋裕子

2006年11月25日(土)・26日(日) 東京 日本科学未来館・東京国際交流館で開催されたサイエンスアゴラ2006 に参加しました。

「サイエンスアゴラ2006 科学と社会をつなぐ広場をつくる」

アゴラとはギリシア語で「広場」という意味だそうです。

日本中のサイエンスコミュニケーター達が集い議論する「広場」となる、というコンセプトでした。

参加したセッションは

25日 B-1-2 「サイエンスカフェフォーラム～サイエンスカフェのこれから～」

A-1-3 基調講演・開会シンポジウム「科学と社会をつなぐ広場をつくる」

G ポスター展示「多様化する科学コミュニケーター養成活動を俯瞰する」(25/26 両日)

26日 B-2-2 展示・ワークショップ「科学コミュニケーター養成の多様性と共通性を考える」

10-12 時 ポスターセッション「多様化する科学コミュニケーター養成活動を俯瞰する」

13-16 時 ワークショップ「科学コミュニケーターのための共通知識を整理する」

このうち、ポスター展示 G、ポスターセッション・ワークショップ B-2-2 では、発表者として参加し、「広島における科学教育ボランティア養成」というテーマで我々の活動を発表、および資料配付してきました。

「科学教育ボランティア」の概念として私たちが考えているのは、ボランティア活動として科学の専門家と一般市民をつなぐ役割をおこなう人々であり、科学コミュニケーターであるということです。その点については、他の発表者や参加者から異論はありませんでした。

以下に、まとめをおこないます。

1：このセッションでは、合計12の団体が発表者として参加しましたが、このうち民間団体からの発表は当方のみでした。他は大学や国立の機関でした。

(参加機関：総合研究大学院大学、東京工業大学、お茶の水女子大学、北海道大学、東京大学、早稲田大学、京都大学、和歌山大学、大阪大学、国立科学博物館、日本科学未来館、そして科学教育サポートネット広島)

2：ほとんどの機関では、科学コミュニケーター養成の対象者は大学生・大学院生や現職教員であり、高校生から退職技術者などの一般社会人まで広く対象としているのは科学教育サポートネット広島だけでした。

3：多くの機関では、養成講座終了後の進路を「職業としての科学コミュニケーション専門家(例：マスコミ・科学ライターや教職員、科学館職員など)」を念頭においているのに対し、科学教育ボランティア養成をはっきりと目標としてあげているものは科学教育サポートネット広島だけでした。

4：以上のことから、ほぼ全ての機関で、科学コミュニケーター養成活動は「職務」の一環としておこなっており、養成活動をボランティアでおこなっているのは科学教育サポートネット広島だけでした。

5：活動の評価について、毎回のアンケートなどを行っていない機関がある、ということで非常に驚き

ました。科学教育サポートネット広島では毎回アンケートをおこない次回以降の活動に反映すべく考えています。

- 6：科学コミュニケーション活動の対象に子どもが含まれているかどうか、という点で、多くの機関は成人中心であり小・中・高校生を対象とした活動を想定していない機関がほとんどでした。これについては、「青少年の科学離れ」を防ぐ手だての一つとして科学コミュニケーション活動は非常に重要ではないかと私たちは考えています。
- 7：同様に、小学校や中学校での理科教育の現状について知らない、という方がけっこうおられたことに驚きました。(たとえば現在小学校1・2年生には「理科」はない(「生活科」になっている)というようなことなど あまり知られていない)
- 8：各機関とも、「サイエンスカフェ」といった双方向科学コミュニケーション活動を重視しており、実際に活動されているという報告でした。
- 9：今回のような「多様性や共通性を考える」というテーマでは、議論の土台となる部分としての知識として「国の第3期科学技術基本計画」など共通理解項目として科学コミュニケータ養成活動論議をおこなっていくべきであろう(計画への賛否は別として)と思いますが、基本計画を知らずに活動されている方が少なからずおられることに少し驚きました。
- 10：他の機関の方々と知り合いになれたのは、大きな財産となりました。また他と比べて私たちの活動は決して見劣りするものではないこともわかりましたので、今後一層充実した活動を目指して取り組んでまいります。サイエンスアゴラが来年以降も開催され、再会できることを楽しみにしております。

私どもの発表ポスター原稿については、ホームページに掲載しておりますのでご覧ください。

<http://www.sesn-j.org/>



ポスターを説明しているところ



ポスターセッションの風景

以上

連絡先：科学教育サポートネット広島

Sesn-hiroshima@sesn-j.org